

鍋倉山山スキー報告

【山城】 関田山脈・鍋倉山

【日程と天気】 2017/02/12（日） 雪 風強い

【メンバー】 CL 菊池、SL 渡辺、吉川、会員外 1 名、庭田（記）

【行程】 09:30 温井集落出発--12:30 鍋倉山北斜面標高 1230m 地点--13:30 同 1180m 地点--14:40 温井集落着



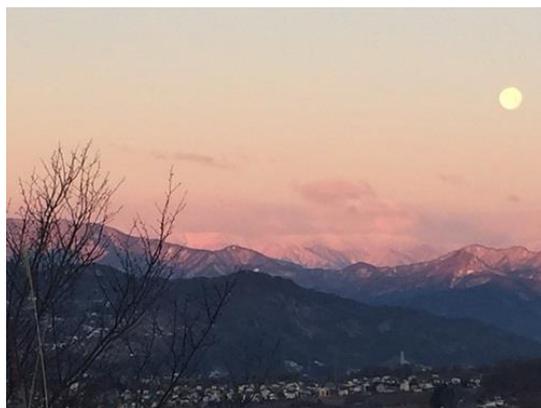
【内容】

朝 4:00 ごろに市川インター近くのセブンイレブンでピックアップをしてもらう。
鍋倉山はシール登行からスタートするので、まずは駐車場でスキーにシールをつける。
久しぶりの山スキーで、なんだかとても手際が悪い。みかねた CL が、シールのつけ方をレクチャしながら、結局シールをつけてもらう。なんだか先が思いやられる・・・

今回は 11 日-12 日と 2 日間の日程でツアーを計画していたが、週末は全国的に冬型が強い予報。11 日土曜日のツアーは中止になった。12 日日曜日はやや冬型が弱まる予報のため、12 日の日帰りツアーとなった。場所は鍋倉山といくつか候補をあげて最終判断は SL と待ち

合わせをしているという東部湯の丸 SA（夜明け直後に到着）で決定することになった。

12 日の戸狩スキー場の降雪予報は 1cm/1h となっていてツアーには支障がないという判断。予定通り鍋倉山でツアーを決行することになった。



私たちが温井に到着したときは、すでに 10 台ぐらいの車が停車していた。

雪の降る中、除雪車をよけながらの記念撮影をしていざ出発！



今年はたっぷり雪がある様子。

出発するときにはうっすら太陽が出る。が、安定した天気は続かず、吹雪いたり、風が弱まったり、を繰り返すような天候だった。



順調に高度をあげて、山頂直下の約 1230m 地点をドロップポイントとした。

上を見上げれば、真っ白な雪がたっぷりある気持ちよさそうなオープンバーン。

もう少し高度を上げたい誘惑にかられるが、CL から、これ以上は雪崩の危険があるので止

まれ。の指示があり、山頂より 50m ほど下の斜面で滑走準備に入った。(翌日、戸狩スキー場でアバランチコントロール中に雪崩が発生していた。)

ここから見る斜面も、たまらないオープンバーンが広がっている。

今年はたっぷりの降雪があったので、藪は見え、ブナの大木だけだ。

でも、自分は今シーズン初すべり。うーん。われながら、こんなところで初すべりする奴って、いるのか？まずはCLがドロップイン。華麗なテレマークターンで、雄叫びをあげながら滑走していく。自分も続いてドロップイン。おー気持ちいい～スンバラシイパウダーのおかげで滑れる～

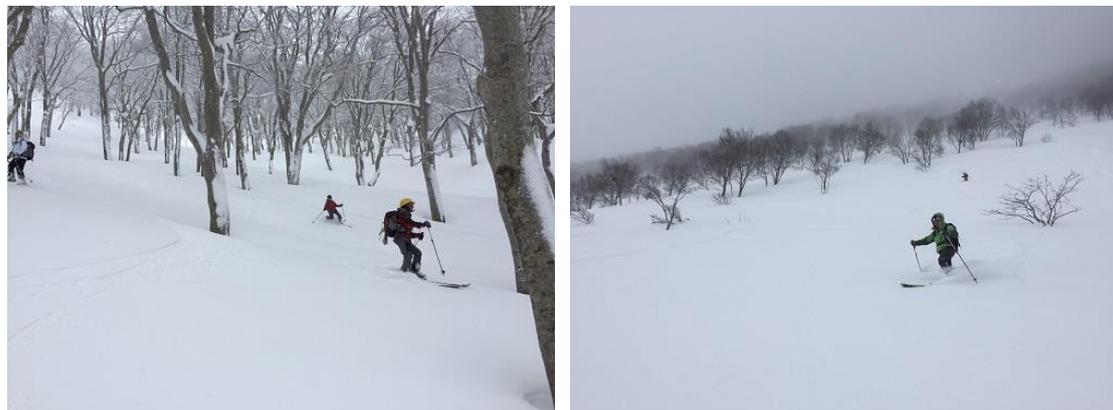
が、停止した瞬間、ふとももがつった。ほぼ、予想通りの結果である。当然だが、一度はゲレンデで滑っておくべきだった・・・

屈伸なんぞしながら、他のメンバーが華麗に滑ってくるのを鑑賞する。



さて、このスンバラシイ (これは、山スキー愛好家でちば山最高齢のTさんが山スキーで発した言葉で、あまりにも気持ちを忠実に現わしているため、皆さん継承しているのです) パウダーをもう一回楽しむために登り返し。途中で風が強くなり、最初のドロップポイントより下部で再滑走となる。

ここからが、菊池ガイド？の本領発揮であった。北東斜面を滑走経路とし、さらにパウダーランを楽しませてもらった。標高が下がっても降雪の多さと気温の低さで、下部でも充分なパウダーランが楽しめた。



CL いわく、困ったときの神だのみ、ならぬ鍋倉頼み。全国的に冬型が強い日など、天候不良でも楽しめてしまうエリアだそうだ。

久しぶりの山スキーだったが、「やっぱり山スキー楽しい〜」(SLの雄叫びを頂ました。) 思えば、今回ご一緒していただいたメンバーは、自分が山スキーを始めたばかりに、よく一緒に遊んでいたいただいた方々だ。改めて、ちば山の皆さんのおかげで、山スキーを楽しめて、これなんだな〜と感謝の気持だ。最近山スキーの参加者が少ないとぼやく CL。これからも「山スキー楽しい〜」て、感じてくれる、ちば山のメンバーが増えてくれるといいな〜と思う。

